

～ノーテレビ・ノーゲームデー～

真室川町教育委員会では、学校教育の重点として「真室川の教育全体構想」において「いのち」「まなび」「かかわり」に重点を置き、「活力ある学校づくり」と、特別支援教育など「一人ひとりの子どものニーズに対応した教育」を推進しています。

今回は「まなび」における、家庭学習の習慣化と計画的・継続的な取り組みのなかで、特に『ノーテレビ・ノーゲームデー』の推進について、ご紹介します。

テレビをはじめとする「メディア文化」は、空気や水と同じように社会や家庭にあふれ、生活に溶け込み、私たちを取り巻く環境のひとつです。

「ノーテレビデー・ノーゲームデー」はそれらのメディアを否定するわけではありません。メディアとの接触時間を見直し、メディ



アと上手に付き合う習慣を身に着けることにより、家族の団らんや読書の時間などが増え、就寝時間も早まり、心を落ち着いた静かな時間を過ごすことができるようになります。また、児童生徒が自らけじめをつけることで、自律心や集中力を育てることに繋がります。

テレビやゲームに長時間接触する「危険可能性」を回避し、いわゆる「メディア漬け」から抜け出すことから、児童生徒はメディアへの関わりを、だらだらと見続ける「受け身」から、自分でかかわる「主体的

なものに変えることを期待できます。

この取り組みは、近年急速に全国で広がりを見せており、その効果は大きいと言われている一方、家族が子どもと一緒に過ごす時間をつくる、テレビを見ないなど、家族の理解と協力が必要です。ぜひ、家族団らんのひとはテレビを消して、1日の出来事を語り合ってみませんか？



〈メディア漬けから脱出するためのチャレンジメニュー〉

ノーテレビ・ノーゲームデー

月に1日、朝から寝るまでテレビを見ない、ゲームをしない日をつくる。

ノーテレビ・ノーゲームウィーク

一週間テレビを見ない、ゲームをしない週を体験する。代わりに何かにチャレンジするのも良い。

ノーテレビ・ノーゲームチャレンジ

全くテレビを見ない、ゲームもしない週と、合計2時間まで出来る週を、交互に2回計4週間行う。メディア漬けを脱する効果が大きい。